

関東の富士見百景

人と花と実りの里



この度は、「令和2年度豊かなむらづくり全国表彰事業」に於きまして、

大変励みとなる賞をいただき、真にありがとうございました。

「人と花と実りの里」創りを掲げて、活動し、今年で16年目となりました。そして、この富士山と管理棟はいつも私たちの活動を見守ってくれていました。

これより、評価を、していただいた活動について発表をさせていただきます。

# 「大月エコの里」とは

山林:6ha 農地:4ha

大月市広報紙掲載「小泉首相と大月市長」



大月市は、国土交通省の指導のもと、国土利用・都市計画の観点から、大月市東部の里山を宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受け、「大月エコの里」が誕生しました。

## 「大月エコの里特区」が 構造改革特別区域計画の認定をうける

構造改革特別区域とは、国土利用・都市計画の観点から、大月市東部の里山を宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受け、「大月エコの里」が誕生しました。

大月市は、国土交通省の指導のもと、国土利用・都市計画の観点から、大月市東部の里山を宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受け、「大月エコの里」が誕生しました。

大月市は、国土交通省の指導のもと、国土利用・都市計画の観点から、大月市東部の里山を宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受け、「大月エコの里」が誕生しました。

平成16年、大月市は宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受け、「大月エコの里」が誕生しました。



大月エコの里は、大月市の東部地区にあり、扇山の南麓に広がる里山であります。面積は、約10haで山林6haと農地4haです。各所から富士山を眺望することが出来ます。

30年余り放置された里山を宅地開発業者が宅地開発を断念し、大月市に寄付をしました。大月市は、この土地を構造改革特別区として認定を受けて、地元住民と協議をすすめて設立したNPO法人おおつきエコビレッジに貸付けてこの土地の有効活用を図ることにしました。

また、平成20年度には、「中山間地域総合整備事業」を活用し、トラクターや軽トラが入れる様に傾斜農地を段丘化して、

作業効率と安全性を向上させました。お陰様で、事故などは発生していません。



国土交通省が推進する「富士山の見えるまちづくり」

これは、段丘化された農地で、富士山を仰ぎながら、一昨年度より、地域おこし協力隊が始めた「もち麦」、「キラリモチ」の栽培風景です。

このキラリモチを、今年度から大月市の「ふるさと納税返礼品」として開発を始めました。

市からのふるさと納税返礼品 開発補助金で「精麦機」を導入して、

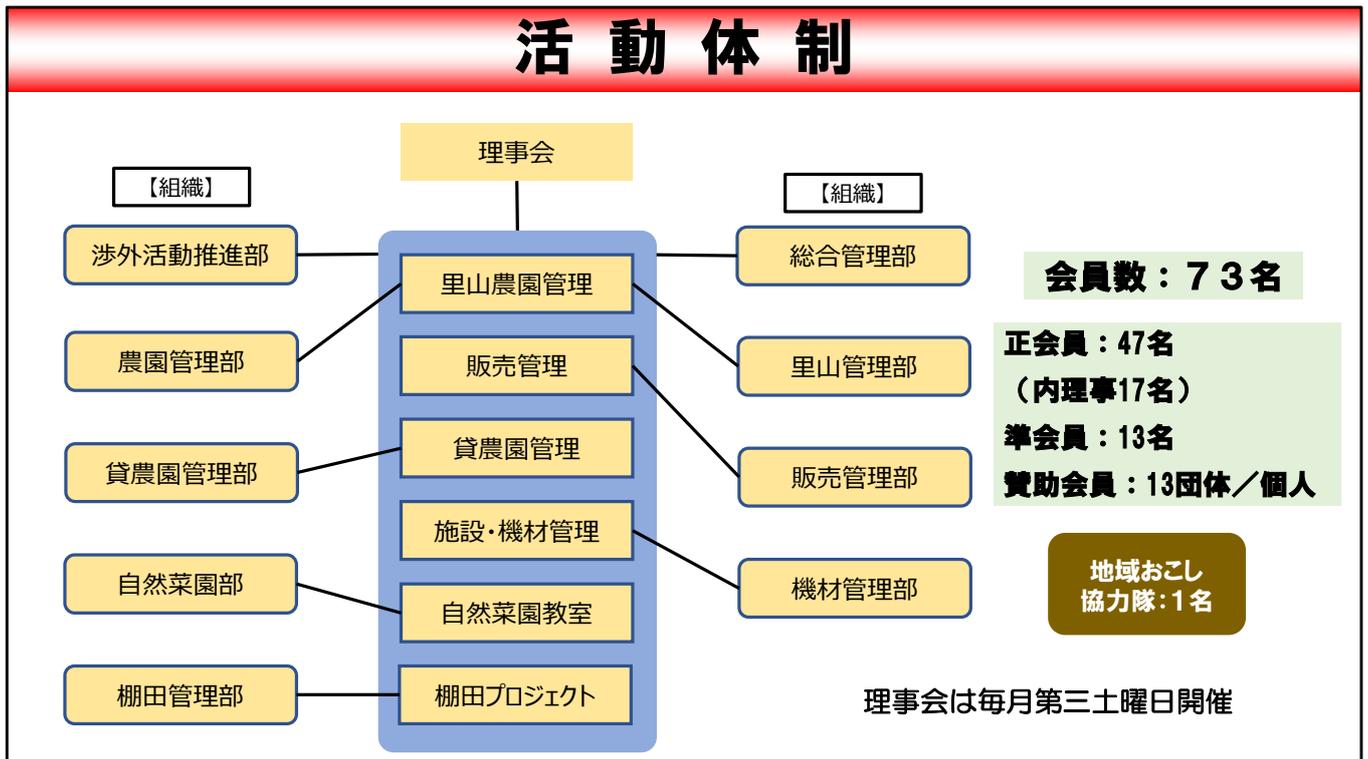
新鮮なキラリモチを提供できるようになりました。

今年度は、完売したことから、作付け面積を300㎡から600㎡に倍増しました。

この様に、国土交通省が推進します「富士山の見えるまちづくり」に「大月エコの里」の活動がマッチしている、とのことで、

「関東の富士見百景」にも選定されています。

# 活動体制



当法人の活動体制は、

会員数が73名で、

(個人での参加は、67名であります。)

内、27名(約3割)県外からの参加者です。

毎月、理事会を、管理棟で第三土曜日の午後に開催しています。

そこでは、

里山の管理状況や作物の生育状況、イベントの計画、

予算の執行状況などを審議をして、活動内容の確認を行っています。

## 活動概要

### 【里山事業】

- ①山林を整備し、里山の環境整備  
シイタケ栽培、薪の販売
- ②千本桜プロジェクトの推進
- ③竹林を整備し、タケノコを育生

### 【交流の場】

- ①大月短期大学の地域実習の開講
- ②幼稚園、小中学生の農業体験
- ③シェアオフィス事業の企画

人と花と実りの里

大月エコの里

### 【農園事業】

- ①地域イベント向け作物の栽培と販売
- ②農作業体験向け圃場の整備
- ③ファミリー農園の整備

### 【アグリパークの推進】

- ①アグリパークとしての整備  
ガーデンテーブル、BBQ設備
- ②パンプキン・パッチかぼちゃ栽培
- ③MTBトレイルコースの整備

その、活動の概要です。

現在の活動の主体は、再生から維持管理に移行しております。そして、エコの里に訪れる人々との交流事業を展開しています。

当法人には、女性の会員が少ないことから、

「メリーの会」の様な、女性が主体として活動している団体と連携することで、軽食喫茶店「富士見カフェ」を開店し、

エコの里で収穫した作物で、ピザやスイーツなどを提供出来る様になりました。

なお、各種団体が主催する産業祭りや公民館祭りなどにも参画し、「大月エコの里」だけでなく、地域の活性化にも取り組んでいます。

今日は、里山事業として、千本桜プロジェクトを、農園事業として、ファミリー農園を、交流の場として、大月短期大学の地域実習を、そして。アグリパークの推進について述べさせていただきます。

## 【里山事業】千本桜プロジェクト



山林を整備して「千本桜プロジェクト」には、延べ600人以上の皆様の協力の基に桜の景勝地創りを推進しています。

第1回（2005年）の植樹祭に植樹した、細い苗木が15年を経過して、立派な桜並木を形成する様になりました。

植樹記念プレートを持った賛同者の皆さん、

地元出身の三遊亭小遊三師匠も参加してくれています。

今では自生していた桜を含めて、約850本になりました。

2月末から、河津桜、ソメイヨシノ、ヒガン桜、しだれ桜、八重桜と、順次、開花が始まり、4月下旬まで楽しむことができます。

また、大月市の観光協会が主催する「さくら祭り」にも参画して、市内外の皆様が訪れるようになりました。

## 【農園事業】 ファミリー農園での交流

東京都や神奈川県など首都圏から家族連れで来所



農地を整備して、ファミリー農園や企業の福利厚生施設として、  
利用していただいております。

約8割が東京都と神奈川県からの利用者です。  
近くにスマートICが開通しましたので更に利便性が良くなりました。

ファミリー農園では、季節にあった作物の栽培方法や農機具の取り扱い指導なども行ったりしています。

右側は、収穫に合わせてに農園に集まり、  
お孫さんと楽しいひと時を過ごされているご家族の様子です。

左側は、企業の福利厚生関係で、農作業の指導をしている様子です。  
社員のお子さんも手伝っています。

## 【 交流の場 】 大月短期大学の地域実習



当法人が発足当時より継続している講座  
前期と後期に開講され、約30人が履修



次に、大月短期大学の地域実習について述べます。  
当法人の設立の準備前から教授が参加されていました。

そして、学生たちに生きた経済学を学ばせようと「地域をフィールドにして学ぶ」として、「地域実習」の地と定め、今日まで継続しています。

地域実習には、毎年30名前後、履修しています。この実習風景は、米作りの例ではありますが、会員の指導の基に、苗づくりから収穫までを実習しています。

農作業実習は、天候に左右され、予定した日が、中止や延期なるなどアクシデントで作業の進展に影響があることなども経験しています。

また、履修後に提出されたレポートからは、収穫の喜びや仲間と協力して作業したことを通して、これからの進路に役立つと感じる学生も多くいました。

## アグリパーク (アグリカルチャー=農業+パーク(公園)) へ



ガーデンテーブル



MTBトレイルコース



コスプレイヤー



ドローンセミナー



ピザ釜

大鍋

BBQ

そして、アグリパークの推進状況です。

ファミリー農園を利用している皆様や、収穫体験などに訪れた皆様が、家族や友人と共に、楽しめるようにと、ガーデンテーブルを、農園や山林の各所に、配置しました。

また、BBQコーナーでは、ピザ窯等も、配置して、アウトドア設備の、充実を、図りました。

そして、山林の景観を活かしたMTBトレイルコースのオープンや、パンプキンパッチとして、巨大かぼちゃや、ハロウィンかぼちゃ、の栽培実験を、始めました。

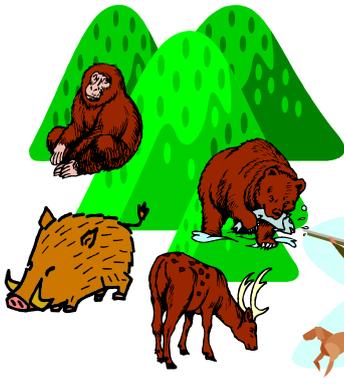
また、コスプレイヤーの皆様が、山林や、竹林、畑を背景に、撮影会に、訪れる様になりました。

最近では「画像電子学会」との共催で「ドローンセミナー」を開催し、その技術を、農業に活かす研究を、始めることになりました。

これらの活動を通して、里山をベースとした、パーク化の推進をしています。

## 里山とは

**自然**  
(扇山)



**里山**  
(大月エコの里)



**街**  
(鳥沢)



**「里山」**は、動物たちが生息する**「自然界」**と  
私たち人間が住む**「街」**の中間に位置しています。

最後に、里山の整備について述べます。

大月市でも同じですが、日本各地でシカやイノシシ、クマなどの害獣が街中に、出没しています。

その理由の一つとして

里山は、私たちの住む街と、動物たちが、住む自然界との、  
中間に位置しています。

近年、里山の整備を止めたり、耕作放棄地が拡大したことから動物たちにしてみれば、そこは自分たちの世界となります。

その結果、隣接する街に、容易に入ってしまうことになって  
しまいます。

こうしたことから、改めて、私たちが行っている里山の整備  
や再生も大切な事業であると考えております。

**ご清聴ありがとうございました。**

この賞は、

一緒に再生活動や維持管理に参加していただいた、歴代の会員、そして多くの関係者の皆様のご支援、ご協力のお陰です。

改めて感謝を申し上げます。

NPO法人おおつきエコビレッジでは、引き続き、「大月エコの里」をベースに、地域の活性化にも繋がる事業を展開していきます。

ありがとうございました。